

監督・選手注意事項

本大会は2020年度日本陸上競技連盟駅伝競走基準並びに本大会規定による。

1. 選手変更について

- (1) 出場選手の区間エントリーは11月1日（日）12時までに連盟事務局に提出すること。
- (2) 監督会議終了後、選手が故障や病気等のため出場できなくなった場合は、補欠をその区間の交代として起用する。この場合、医師の診断書またはこれに準ずるものを添えて当日の8時までに審判長に届け出て承認（許可）を得ること。
- (3) 8時以後の事故については、審判長へ診断書またはこれに準ずるものを提出し承認（許可）を得ること。

2. ナンバービブス・タスキについて

- (1) ナンバービブスは1人2枚配布する。胸と背に折り曲げることなくそのまま付ける。
- (2) ナンバービブスは区間走者番号を間違えないよう確認のこと。
- (3) 「タスキ」に計測チップを装着するため、取扱いは特に注意すること。
なお主催者で用意する。
- (4) チップ入りタスキは、ゴール後正面エントランスにて返却のこと。

3. 招集（点呼）について

- (1) 選手招集は、出発点（中継所）に設ける。（スタンド下「トレーニングルーム2」）
- (2) 招集方法は次のとおり。
ア. 点呼の際は、胸と背にナンバービブスの付いた上衣を着て集合し点呼を受ける。
イ. 各区間の点呼時間は下記の通り。

	招 集	点 呼	出発予定時間	距 離
第1区	トレーニングルーム2	8:40	9:00	13.4 km
第2区	トレーニングルーム2	9:18	9:38	8.4 km
第3区	トレーニングルーム2	9:42	10:02	16.8 km
第4区	トレーニングルーム2	10:31	10:51	8.4 km
第5区	トレーニングルーム2	10:55	11:15	8.4 km
第6区	トレーニングルーム2	11:19	11:39	8.4 km
第7区	トレーニングルーム2	11:43	12:03	12.6 km

4. 競技について

- (1) 競技中、「タスキ」は肩から斜め腋下へかけて走るものとし、肩にかけていないものは失格となる。
但し、中継所の前後は手に持って走っても良いが、受け継ぎ後はできるだけ早くタスキをかけて走る
こと。
- (2) 中継所において「タスキ」を渡し終わった走者は、速やかにコースを外れ、後続者の走路を妨げない
こと。
- (3) 中継所において「タスキ」を引き継ぐ選手は、中継所より進行方向（前方）に位置しなければならない。
- (4) 選手は途中で競技を続行できない状態になり医務員などより競技の中止を命じられた場合は、当該チ
ームのその区間の競技を無効とする。この場合、そのチームは審判長の指示に従い次の区間者から再
び競技を続行できる。なお再スタートの時期は、審判長の指示に従うこと。
- (5) 第1区走者の出発の要領は次のとおり。
 - ・スタート5分前、3分前、1分前、20秒前、10秒前と通告する。
 - ・スターターは10秒前の通告と同時に「on your mark」と呼ぶ。
- (6) 各区間とも1km、2km、3km、あと1km地点を標示する。
- (7) 下記の内容にて繰り上げスタートを行う。
 - ・第4区走者：11時05分 繰り上げスタート
 - ・第7区走者：12時20分 繰り上げスタートまた、繰り上げスタートを行う走者には、第4区は緑色のタスキ、第7区は黄色のタスキを使用し
ます。

5. ナンバービブス及びコース順について

ナンバービブスは前年度の上位順とし、第1区走者のスタート時のコース順もナンバービブス順とする。

6. その他

- (1) 連絡車、応援車等については、原則認めない。
- (2) 競技場周辺の路上駐車は絶対にしないこと。
- (3) 熊谷スポーツ文化公園内（競技場含む）の混雑と事故防止のためIDカード着用なき者の陸上競技場
（スタンド）内の出入りを禁止する（選手・スタッフ用として各チーム最大30枚を支給）
競技終了後回収する。
- (4) 競技の撮影については、陸上競技場（スタンド指定エリア）内のみ撮影可能です。
なお、陸上競技場（スタンド指定エリア）以外での撮影はご遠慮ください。

以上